



まちづくりびと ニュース

第8号

平成21年4発行

<目 次>

- 地域の“まちづくりびと”養成講座…P1 ●「まち“夢”工事部門」
第2次選考決まる……………P2
- まちづくり交流会……………P2 ●あいさつ……………P3

平成20年度 地域の“まちづくりびと”養成講座

「住みよいまちを考えていこう！」を開催

平成20年度の「地域の“まちづくりびと”養成講座」は、「まちづくりファシリテーターになろう」（ステップアップ編）に引続き、熱田区日比野地区をモデルとして、10月から12月にかけて、全6回開催しました。この講座は、先に実施したステップアップ編受講生に呼びかけ、ステップアップ編で体験した技術を実践的に活かすために、ファシリテーターとしてお手伝いして頂き、受講者側も進行する側もお互いが学び合う講座を目指しました。

また、地域のまちづくりを考える入門編として企画したこの講座は、当センターが熱田生涯学習センターと共催で、名古屋学院大学と連携して取り組みました。商店街、コミュニティ、緑、新しいまちなどをまちづくりのテーマとして、将来の日比野に向けたまちづくり提案を取りまとめました。最終的には、提案を10コマの紙芝居に整理し、日比野地区の住民の方々をお呼びして、発表をしました。皆さん、自分達の地域への提案に熱心に耳を傾けてくださいました。

（講座取り組みの様子は、別冊をご覧ください。）

最後は修了証の授与をおこない、記念写真を撮り全6回の講座が終了しました。



6回の講座を終えて記念撮影



成果報告会には地域の方が多数参加



10コマの紙芝居でまちづくり提案

講座終了後、平成 21 年 1 月から、講座の成果を踏まえ、実際に日比野地区のまちづくりに役立てようと有志で準備委員会を立ち上げて検討を重ねた結果、3 月 14 日に「日比野ひとまちネット」が誕生しました。早速 4 月には、日比野商店街の最大のイベントである「ひびのこイまつり」に参加して、まつりを盛り上げるとともに、「日比野ひとまちネット」のPRに努めています。

また、5 月には「ナンジャモンジャを愛でる会」の開催も企画しています。今後の日比野地区の発展とともに、日比野ひとまちネットの活躍が期待されます。「日比野ひとまちネット」は月 1 回定例会を開催しています。皆さんも一度顔を出して応援してください。



まつりで「日比野ひとまちネット」を紹介



親子で作ったパンの販売

平成 20 年度 まち“夢” 工事第 2 次選考結果が決まる

まち“夢” 工事の平成 20 年度の第 2 次選考会が平成 21 年 2 月 21 日に開催されました。第 1 次選考後、計画内容の検討、地域の方々への工事提案会など、まちづくりにとって不可欠な活動を精力的に行っていた結果、5 団体が採択されました。（19 年度、20 年度採択団体の提案内容は、ニュースレター vol.79 をご覧ください。）市民団体が自らの手で、まち夢工事を行い、まちづくりに主体的に関わっていくこの事業も、着実に実績を積み重ねています。



工事準備の成果の報告



公開の審査の様子

平成 20 年度 まちづくり交流会が開催される

平成 20 年度のまちづくり交流会は、前年度までの開催と少し趣向を変えて、グループ交流会及び全体交流会の 2 段階で開催しました。グループ交流会では、団体からグループで取組みたいテーマを募集しました。揚輝荘の会から、「清洲越し 400 年」プロジェクトというテーマで、東区まちそだての会、那古野一丁目町づくり研究会、美濃路まちづくり推進協議会に呼びかけて取組む提案がなされグループ交流会が実施されました。名古屋の歴史と文化を育む団体の共同での取り組みとして今後の活躍が期待されます。このグループ交流会の成果を参考に、全体交流会が開催され、他の分野でのグループ化やその時のテーマの可能性について話し合いが持たれました。こ

れまで、市民団体が個別に取り組んでいた枠を超えて、共通のテーマを見出しながら、ネットワーク化していく可能性が感じられた一日でした。

そして、5月10日（日）には、いよいよ「清須越400年事業ネットワーク」の設立総会が開催され、市民団体の連携によるイベントへの取り組みが開始されます。関心がある方は、都市センターのホームページでイベントカレンダーを参照してください。



各団体の活動状況の報告



共通のテーマを話し合うグループワーク

あいさつ

■■■お世話になりました■■■

前まちづくり相談幹 みやじまこういち

ありがとうございました。

都市センターを去らねばならなくなりました。終わってみれば短い5年間でした。

いろいろなひととの出会いがいっぱいありました。やり残したこともいっぱいありました。

でも心配はしていません。みんな元気なひとたちばかりですから。

みんなで続ければ、すこしづつ前に進みます。まちもよくなります。

勝手ながら、すべて私の財産とさせていただきます。また、お会いするまで。

前 調査課 後藤 千絵

都市センターまちづくり支援担当として、2年という短い間お世話になりました。この担当になったことで、みなさんのような“まちづくりびと”や、まちづくり団体の方とお会いでき、話をすることができ、私にとって貴重な財産となりました。今後の名古屋のまちづくりを担っていくのは、みなさんたちなんだということが改めて実感することができました。もちろん、わたしもがんばります。一緒にがんばりましょうね。

ところで、異動先は市役所の都市計画課という部署です。西庁舎の4階にあります。市役所にお寄りの際は、ぜひ顔を出してくださいね。

■■■■はじめまして■■■■

宮島相談幹の後任の安田です。

これまで守山区の志段味区画整理事業や、多くの土地区画整理事業に携わってきました。雑木林や水田に新しい街を造る仕事です。区画整理で街の基盤はできますが、安全で安心して快適に住み続けられる街にするためには、そこに住む人たちがルールをつくり、思いやり・助けあうシステムをつくりことが大切と感じていました。

ここでは、地域でまちづくりに取り組んでいる多くの方とお会いし、話ができるということで非常に楽しみにしております。いっしょにまちづくりについて考えていきたいと思っておりますのでどうかよろしくお願いします。

雲林院康宏（うじいやすひろ）です。

後藤さんの後任として、4月からまちづくり活動支援の仕事をしております。近年、地域住民の方が中心となったまちづくり活動が、活発になってきていると実感しております。

これまでの、道路計画や土地区画整理事業といったハード面でまちを造る仕事に携わってきましたが、まちづくり活動支援という仕事は初めてです。至らない点もあるかと思いますが、どうかよろしくお願いします。

編集後記

平成 21 年度最初のニュースで2名の異動の挨拶をお願いすることになり、少し寂しい新年度となりました。しかし、4月はやはり新陳代謝の時期ですので、新しいメンバーで、頑張っているとか新たな闘志を掻き立てているところです。まちづくりびとの方々も、以前にも増して都市センターへ足を運んでいただき、熱き思いでまちづくりを語れたらとお待ちしていますのでよろしくお願いします。

（T. A）

■皆さんの活動など、ニュースに載せてもよい記事などがありましたら、ドシドシお寄せください！

名古屋都市センター 調査課 まちづくり支援担当

<メンバー>安田、三品、雲林院、青山

〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目一番一号金山南ビル1 3階

TEL 052-678-2214 FAX 052-678-2211

E-mail shien@nui.or.jp